

# 小P連だより

発行日：令和3年3月31日  
発行者：令和2年度立川市立小学校PTA連合会  
会長 直塚 創  
事務局 松中小学校 PTA

## 会長より

立川市立小学校PTA連合会会長 直塚 創

昨年度末に発令された緊急事態宣言を受けて、今年度は学校との協議の結果、PTA 活動の自粛を決定しました。本部役員のみで令和2年度をスタートしました。

以前は行っていた旗振りも今年度は実施することはできませんでしたが、新1年生や他の学年の子どもたちの登下校の安全を保護者の方にも協力していただけるよう声掛けをしました。その甲斐もあってか、大きな事故などもなく無事に過ごすことが出来ました。

夏の大イベントである「松明まわし」も実施することが出来なかったことは、本当に残念でした。

その中で、今年度は松中小50周年記念行事に向け、実行委員と共にバルーンリリースのお手伝いもしながら、サポートをすることが出来ました。

また、小P連としての取り組みは、新型コロナウイルスに感染した子どもたちの差別などの配慮するため各校と連携をしながら、子どもたちの生命の安全や人権擁護の観点からプリントを配布したりHPに掲載するなどしました。

今年度はほとんどの活動を行うことが出来ず、残念ではありましたが、これからもコロナ禍での活動を強いられるかと思いますが、今年度の反省をしっかりと踏まえて、来年度も子どもたちの命の安全を最優先に活動が出来ればと思います。

最後になりましたが、今年度は様々な制約の中で各校PTA会長様には多大なるご協力を頂き、ありがとうございました。

## 会長校長より

立川市立松中小学校 校長 福原 憲生

5月の大型連休が過ぎ、太陽の日差しも一層強くなってまいりました。初夏を思わせる陽気ではありますが、まだまだ続く新型コロナ感染症の感染対策に気を配る毎日です。

さて、PTA会員の皆さまには、年度当初からの臨時休業措置や再開後の学校行事変更など、ご心配をおかけしました。その中でも小学校PTA連合会の役員の方々の皆さまをはじめ、各校のPTA会長様におかれましては、学校の教育活動にご理解をいただきなら、ご支援を賜りました。

これまでに経験したことのない状況下であっても、工夫を凝らしながらできる活動を進めていただきました。特に、新型コロナ感染症が猛威を振るう中、子供たちの人権を守るメッセージを発信していただいたことは、学校の支えとなるとともに、子供たちにとってよいお手本となりました。

また、必要な活動や取り組みはどのようなものなのか、PTA活動の本質に迫る議論も、リモート会議を通してながら重ねることができたことは、よりよいPTA活動として将来につながるものであったと感じています。

改めて、小学校PTA連合会という力強く前向きな組織と取り組みに、敬意を表し感謝を申し上げます。

## ～令和2年度事業報告～

### ★運営委員会★

今年度は全3回開催。

新型コロナウイルス感染症対策のため、今年度は第1回を立川市役所で行い、第2回及び第3回はオンライン(GoogleMeetを使用)で行いました。

各回とも市内全小学校のPTA会長が集まり、コロナ禍において小P連が行う事業内容や各校PTAで抱える問題などを話し合いました。



## 小P連の事業に参加してみたの感想

一年間活動に参加して下さった各校のPTA会長に感想を伺いました。

今年度のPTA活動は、新型コロナウイルス感染症の影響により、今までにないスタートとなりました。例年の体制も整わないなど様々な規制のある中、保護者の皆様のご理解とご協力を頂きながら本部役員はオンラインでの会議も活用し、話し合いを重ねました。「コロナ禍でもできること」への取組は、これまでの活動を見直し、工夫・改善する機会になったと思います。

子どもたちの安心・安全な学校生活のため、引き続き校長先生をはじめ、学校、地域のお力をお借りしながら、今年度の活動を活かしてこれからも様々な状況に配慮したPTA活動を行っていただけたら良いと思います。

第一小学校 PTA会長 米川 千香

コロナ禍で制限のかかるなか、PTA活動にご協力くださった保護者と教職員のみなさまに感謝を申し上げます。また、様々な工夫をこらして「できること」を進めてこられた各校PTAのみなさま、本当にお疲れ様でした。

2小では、総会開催が遅れるなどしてPTA側の体制が整うのに時間がかかるなか、登校日の子どもの見守りなどについては地域の方達にご協力くださり、地域連携の重要性を実感しました。この場をお借りして、あらためて、感謝を申し上げます。

例年どおりの活動の多くは見送りになるなかで、オンラインを活用できるものは活用し、「新しい生活様式」に適応した、PTAの「新しい活動様式」への模索も進め、結果的に活動内容や方法をスマートにできた部分もありました。このようなキッカケで様々な見直しが始まったことは不本意ではありますが、社会の変化に対応する大人の姿を見せるという意味で、子ども達への教育的な意味もあったのでは…としたいところです。

みなさま、1年間、ありがとうございました。

第二小学校 PTA会長 山本 健司

正直ここまで長引くとは思っていませんでした。夏頃にはおおそ普段通りに戻らうと高を括っていたのが本心です。ジワジワと長引くコロナ対策に対し、PTA活動に関する判断のタイムリミットは刻一刻と迫ってくる、どんな判断を下しても正解かどうかは分からない…その中で活動に優先順位を付け、最小限の体制を整備し、最小限の人数での対応を心掛けました、文字にすると上手くできた様に見えますが、実際はその場凌ぎの対応に追われ、運営する側としては非常に痺れる1年でした。

「それ去年と一緒にっ！」の一言で回せる日が早く来るように願っています。

第三小学校 PTA会長 小田 純史

今年度は、新型コロナにより予定していた活動が中止や縮小になるなど、学校行事に関わらず学校生活においても大きな変化のあった年でした。四小はグループウェアの導入や Web 会議環境の整備など、試行錯誤の一年でした。ただ、今回のことにより、本部役員の活動は今まで以上に柔軟に行える体制が作られつつあるように感じます。

PTA 連合会事務局もとりまとめが大変な年だったとおもいます、ありがとうございました。

第四小学校 PTA 会長 佐藤 誠治

五小では、この一年はほぼ活動休止状態だったため、これといった取り組みはありません。

しいていえば、昨年 3 月に新型コロナウイルス感染症が急速に拡大して、全国的に緊急事態宣言が出されて PTA の動きが止まったときに、これまでのアナログなやり方では通用しないと感じ、今後のペーパーレス化を考えてサイボウズのグループウェアを導入したくらいでしょうか。

まだ役員だけでしか使っておらず、今はスケジュール管理や、PTA 室の予約、活動報告の入力で使っているくらいです。個人的には一元化できて便利だと感じます。

試験的に、PTA だよりを学校 HP に載せたり、学校メールを活用したりしました。学校メールは 7 割ほどの開封率らしく、定着させるにはまだまだ課題もあると感じました。

あと直接学校に行かずに役員会とかできるように、オンラインで試験的にやってみました。

緊急事態宣言下でも役員会や運営委員会などができるように、いずれ運営委員会も学校へ行って出席する人、オンラインで出席する人と、それぞれのやり方で出席できればいいと考えてのことでしたが、私だけでなく本部役員全体の意識が変わらないと定着は難しいと感じました。

デジタル絡みで、PTA もパソコンを使って作業をしているので、PC のアップデート、クラウドサーバへのファイル共有、配布物のペーパーレス化、オンライン会議など、必然的にネット環境が必要になってくると思います。個人のポケット Wifi を使ったり、個人のスマートフォンのテザリングでやったりと、個人の通信機器でやっていくのは、いずれ限界があるのではないかと思います。

PTA 独自にネット環境を用意するのが一番いいのですが、PTA の限られた予算ではネット環境を構築するのは厳しいと感じています。

第五小学校 PTA 会長 福島 達也

今年度は何も出来ない一年でした。ただ、中でも子供達が元気に笑顔で登校していた事が救いでした。まだまだ大変な状況が続くと思われませんが、子供達の笑顔を守る為、我々保護者が出来ることを探りながら活動して行きたいと思っています。一年間ありがとうございました。

第六小学校 PTA 会長 渡部 靖士

今年度の七小 PTA は「児童の安全を最優先に、学校生活がより充実したものとなる」ことを念頭に活動をしてきました。

児童の安全確保に関わる活動(スクールゾーンへのバリアード設置)は 6 月の分散登校と同時に開始する一方、緊急性を要しない活動は夏休み明けより本格的に進めてきました。

PTA 行事は 8 月に密にならず夏を楽しむ水風船合戦を、11 月にハケ岳や日光移動教室が中止になってしまった 5,6 年生を対象に学校お泊り会を開催しました。

今年度の PTA 活動はコロナの感染状況の変化によって計画の見直しが必要となり、活動の難しさを感じました。

来年度は活動計画を立てる際に代替案も検討することで、変化に対応した活動を進めていきたいと考えております。

第七小学校 PTA 会長 五郎谷 善弘

八小 PTA としては自転車免許など安全に関わる活動以外は制限し、多くのイベントは中止となりました。しかし 120 周年という節目の年でもあり、記念事業の企画等に参加し、コロナ禍でも心に残る行事に携わることができました。

<https://youtu.be/cea8M7Fu9po>



120 周年事業  
ダイジェスト

第八小学校 PTA 会長 丸山 恵

令和 2 年度は新型コロナウイルスの影響により、新年度より休校措置や分散登校など、すべてが初めての経験であり、新一年生をはじめ児童には色々和我満をさせてしまい非常に心苦しいスタートでした。教職員や保護者の皆様の多大なるご苦勞に対しまして感謝申し上げます。6 月より学校生活が再スタートしまして、活気あふれる学校生活が戻ってきましたが、3密(密閉・密集・密接)の回避や飲食を伴う活動の回避など例年通りの活動に制限が避けられない状況の中で、感染対策は継続して役員会・九小祭の開催を行いました。

年度始めの保護者会が開催できなかった為、各委員会の選出もできずに各委員会の活動内容の引き継ぎを全て本部役員で分担して対応し、各委員会が関わっていた全ての活動を本部役員のみで行った一年間となりました。また、「PTA 活動に携わるようになって、あまりに非効率で保護者の負担が大きいか分かった。特に、今では共働き家庭も多いのに参加するのは母親が中心。平日の昼間に有給休暇を取らないといけない上に、父親が参加しないのが当たり前という PTA 活動のままでは、ネガティブな印象が払拭されず、保護者の参加意欲は上がらない」と危機感を感じました。

このようなことから現状の PTA 活動が則していない内容が確認できたことで新たな第九小学校 PTA の組織体制と活動内容が課題として検討することが出来ました。

特に今年は保護者の負担軽減や PTA 活動全体として各委員会(学年委員、地区委員、自転車委員、広報委員、選考委員)の活動内容を見直し、地区委員、自転車委員、広報委員を廃止し、必要な活動を学年委員内に取り込むことで役員人数の削減と保護者の負担軽減が行えました。

また、創立記念品として紅白饅頭を恒例的に配布しておりましたがコロナ過である為、九小祭と併せて鉛筆を配布したところ児童や保護者からの評価をいただきました。

来年度も PTA 活動は制限される状況ではございますが、子供たちが健康で安全な生活を送れるような活動を行っていきたくと思いますので、教職員や保護者の皆様および地域の方々のご理解・ご協力をいただきながら新体制で努力して参ります。

第九小学校 PTA 西村 信栄

会長 2 年目となります。PTA をより活性化させようと意気込んでいた矢先に、新型コロナウイルスにより活動が出来ない状況となりました。

PTA 総会は書面表決に変更し、用紙の配布と並行して Google フォームを用いた Web による表決に切り替えることで、感染防止に努めながら実施することが出来ました。

PTA 活動は学校と協議した結果、委員の活動を休しました。自転車教室に限り、子ども達の安全に関わることなので実施させていただきました。本部役員は、リモート会議を実施しながら、活動を続け、本部会の議事録を学校のホームページにアップしていただき、活動状況を保護者の方へ共有いたしました。

選考は本部役員が行い、新型コロナウイルス感染症に十分注意しながら、無事に実施することが出来ました。

来年度は、何が出来るか考え、工夫しながら活動していく一年と思っております。この一年、今まで経験したことがない事であり、保護者のみなさまも大変ご苦勞されたと思います。一日も早い沈静化と通常の PTA 活動が出来る日を心よりお祈り申し上げます。

十小 PTA 会長 亦野 康弘

西砂小学校 PTA は、その役割は前年踏襲を基本として引き継がれています。それにより、役員交代があっても大きく右往左往することなく、PTA としての考え方のぶれもなく活動が来ています。

しかしながら令和 2 年度の PTA 活動は、活動や委員会はほぼ中止になり、困惑した異例の事態になりました。そのような中でも、子ども達が喜んでくれるならとささやかながらの配慮や、このような時だからこそ思い切った予定外の会費を投じたこともありました。

PTA 役員として学んだコロナ禍での課題や反省、又、取り組めたことや取り組めること等を伝えていくことも、私達の役割であると思っています。

西砂小学校 梶原 伸介

昨年度末に出された緊急事態宣言を受け、それまでに決まっていた本部役員と校外委員のみで令和 2 年度は PTA 活動を運営しました。子どもたちが安心・安全に登下校できるよう、朝の登校時見守り(旗当番)活動を従来通り行い、今年度も大きな事故等なく無事に過ごすことが出来たのは、保護者の皆様、そして地域の皆様のおかげです。

例年通りには進まない中、小 P 連でもリモートを取り入れ、役員会・運営委員会を開催できたことは、今後の小 P 連運営の可能性を広げることになるのではないかと思います。このような状況下であるからこそ、各校 PTA 会長の皆様と情報交換出来たことは、自校 PTA 運営を行ううえで心の支えとなりました。会長校である松中小事務局の皆様におかれましては、様々なことにご考慮いただいたことだと思います。大変お世話になりました。

各校 PTA 会長の皆様、松中小事務局の皆様、一年間ありがとうございました。

南砂小 PTA 会長 釘宮 未幸

今年度、幸小 PTA は本部と自転車教室運営部のみの活動となりました。

自転車教室運営部では感染対策を十分に取り、10 月に 3 年生の自転車教室を行いました。

本部では主に幸小の 50 周年記念行事に向け、実行委員として記念の校歌 DVD 撮影やフォトモザイクアートの作成などに取り組みました。

今年度はほとんどの活動を行うことができず、残念ではありましたが、今までの活動を見直すよい機会となりました。これからは PTA も活動の形が変わっていくのかもしれませんが、柔軟に対応し、活動を続けていきたいと思っています。1 年間ありがとうございました。

幸小 PTA 会長 今村 千尋

今年度は新型コロナウイルスの影響で、様々な活動が制限された一年でした。

一学期は、全ての行事が中止となり、運動会も規模を縮小し 10 月に延期して実施しました。10 月は大山小 PTA のメインイベントである大山ふれあいフェスタがあるのですが、運動会の日程と重なり、残念ながら中止になりました。

様々な自粛を強いられた年でしたが、先生方や役員の方々とは知恵を絞りながら、活動してきました。その中で、今までの大山小学校 PTA のあり方を見直し、来年度から『ちょこっとボランティア』として保護者全員参加で、少しづつ役割を分担するように規約を改訂しました。

この改革には、これまでは本部や学年部などに選ばれた少数の役員の方々の負担割合が高く、この負担を軽減すること、そして保護者全員が当事者との意識をもって PTA 活動を行ってもらい狙いがあります。

来年度も、コロナウイルス対策で、どのような活動になるかわかりませんが、大山小学校 PTA は子供たちのため、先生方や地域の方々と共に、より良い運営をして参ります。

大山小学校 PTA 会長 堀田 康雄

新型コロナウイルスの影響により、例年よりも縮小した形で活動したため、子どものイキイキとした姿を見る機会が少なく残念だったが、運動会のお手伝いや次年度への課題整理など、一定程度の活動はできたと思う。

新型コロナウイルスの感染状況は、依然予断を許さない状況であり、with コロナも想定した活動を考えるだけではなく、持続可能な PTA 活動を考えさせられた一年だった。

上砂川小学校 PTA 会長 西 芳典

本年度柏小は、コロナ禍で PTA の活動を中止いたしました。保護者の方々には大変ご迷惑をお掛けしました。来年度も活動出来るかわからない中でのご協力を頂くことになるかと思いますが、よろしく願い申し上げます。

柏小 PTA 会長 吉澤康貴

新生小学校は、令和 2 年度の活動を新型コロナウイルスの感染状況をみながら行ってまいりました。コロナ禍での活動は PTA 会員の皆さまには大変ご迷惑をおかけしたと思います。ただその中でも PTA 本部として学校、保護者の皆さま、地域の皆さまとの懸け橋になれるよう、子どもたちのための活動ができるようさまざまに話し合いました。

その一つが 10 月 25 日(日)のたまがわ・みらいパーク主催、たちかわ創造舎共催の「ものづくり会 & 体育館展示」に PTA 本部もお手伝いとして参加させていただいたことです。担当したのは、レジンでアクセサリーづくり、押し花フォトフレームづくり、体育館展示です。

レジンでアクセサリーづくりは、木片をレジン液で宇宙柄にし、UV ライトで加工します。完成すると木片が鉄のような見た目に変わり、不思議な感覚のアクセサリーができあがりました。押し花フォトフレームは、フォトフレームにタイルでデコレーションし、あらかじめ準備した手作りの押し花を透明フィルムで浮いたように飾りつける作品です。どちらも、世界にひとつだけの素敵な作品が完成しました。完成した時の子どもたちのほじけるような笑顔を見たときに、お手伝いした私たちも嬉しくなりました。体育館展示は、毎年 7 月に開催していた新生まつりで本部が恒例としていた出し物、お化け屋敷のお化けの展示をさせていただきました。おまつりの中止で出番をなくしたお化けたち(とてもクオリティの高く、毎年頑張って作り上げた保護者の作品)を、子どもたちに見せたいという、本部役員の要望を、たまがわ・みらいパークやたちかわ創造舎の方々が力を貸してください、形にすることができました。体育館展示の終わりに、たちかわ創造舎の方から、お褒めのお言葉をいただき、プロの方からのお褒めの言葉にとっても感激しました。

今回地域交流として参加させていただいたことで、新型コロナウイルス感染症対策をしながら子どもたちのための活動ができるのだと感じました。このお手伝いを参考に、次年度も学校、保護者、地域の皆さまと話し合い、子どもたちのための活動ができるようにしてまいります。

最後になりましたが、小 P 連の役員の方々の皆さま、事務局の方々の皆さま、このようなコロナ禍でさまざまにご対応いただきありがとうございました。

新生小学校 PTA 会長 園田 智恵

～ご協力ありがとうございました～